

議会運営委員会行政視察報告書

平成 25 年 3 月 2 1 日

- 1、視察期間 自 平成 25 年 1 月 29 日 (火)
 至 平成 25 年 1 月 31 日 (木)

- 2、視察都市 (1) 三重県松阪市 1 月 29 日 (火)
 (2) 三重県鳥羽市 1 月 30 日 (水)

- 3、視察事項 (1) 松阪市
 <議会運営について>
 <議会改革について>
 (2) 鳥羽市
 <議会運営について>
 <議会改革について>

平成 2 5 年 1 月 2 9 日 (火) 午後 2 時 0 0 分～3 時 3 0 分

①松阪市議会

議会運営について・議会改革について

②松阪市の概要

三重県松阪市は、三重県のほぼ中央に位置し、東は伊勢湾、西は台高山脈と高見山地を境に奈良県に接し、南は多気郡、北は雲出川を隔て津市に接している。

平成 2 2 年の国勢調査によると松阪市の人口は、1 6 8 , 0 1 7 人で、三重県全体の 9 . 1 % を占めている。

平成 1 7 年 1 月 1 日に、松阪市、嬉野町、三雲町、飯南町、飯高町の 1 市 4 町が合併し、新しく生まれた松阪市は、南三重の中心都市としての役割を担い、更なる発展が期待されている。

③議会運営・議会改革について、

松阪市議会は、平成 2 2 年 2 月に議会改革検討委員会を設置しインターネットによる本会議録画中継や議案に対する議員個人の賛否の公表等をし、平成 2 4 年 1 1 月に議会基本条例を施行している。

本議会が取り組んでいる議会改革の先進地である松阪市議会を視察場所に選定した。

なお、松阪市議会では、市議会の活性化と改革に向け、さまざまな観点から見直し・検討をすることを目的に活発に活動している。

例として、ケーブルテレビによる議会放映の拡大、インターネットによる本会議及び委員会の中継、夜間・日曜議会の開催や市民の声を聞くための意見箱設置等を検討しているとの事である。

また、松阪市議会では通年議会、議員報酬・議員定数の検討(附属機関の設置)や当初予算の審査方法(予算常任委員会の設置)を今後の課題として臨んでいる。



平成25年1月30日(水)午後2時30分～4時00分

①鳥羽市議会

議会運営について

②鳥羽市の概要

三重県鳥羽市は志摩半島に属し西を伊勢市、南を志摩市に接し、他は海岸線である。市域全体が伊勢志摩国立公園に指定されている。

海岸はリアス式海岸で、温暖な気候に恵まれ渥美半島に位置する愛知県田原市が伊良湖水道を挟んだ対岸にあり、伊勢湾フェリーによって連絡し、平成22年の国勢調査によると鳥羽市の人口は21,435人、昭和29年1月1日三重県志摩郡鳥羽町・加茂村・長岡村・鏡浦村・桃取村・答志村・菅志摩村・神島村の1町7村が合併、市制施行。昭和52

年11月15日国際観光都市として指定された。

③議会運営・議会改革について

鳥羽市議会は、平成19年に議会活性化検討委員会(任意の委員会)を設置し議会改革を推進してきた。

平成22年には議会基本条例策定委員会及び幹事会を設置し、約1年半かけて平成23年12月定例会で鳥羽市議会基本条例を制定し、平成24年4月から施行している。

また、平成22年2月には地方議会では全国で初めてツイッターを導入した。導入の経緯は、利用者がツイッターに登録すると、議会情報を継続して発信出来るうえ、転送機能によって重要な情報が広がりやすいことに着目したとの事である。

また、ツイッターに続き、同年9月にはユーストリームによる中継・録画の配信を始め、現在では、非公式の会議を除く全ての会議を放送対象にした結果、議会運営委員会や全員協議会も中継するようになったとの事で、全員協議会の中継は全国でも例がないと見られる。

このため、先進地として視察場所を選定した。

※ツイッター導入経緯

ツイッターはホームページと違い、一度フォロー(登録)すると情報を受け取り続けることができ、また転送機能(リツイート)により重要な情報が拡散しやすくホームページに誘導しやすいことから導入を検討。

平成22年2月2日に正副議長決裁で了承後、2月10日に報道資料提供、なお、なりすまし防止のため、公式アカウントであると証明するにあたり、ツイッターの日本代理店に公認申請(認証済みアカウント)をした。

※配信方法

本会議・委員会とも新設ハードディスクカメラから映像を、既設マイク設備から音声を新設議会映像配信システムに取り込み、テロップ等を付けた映像をパソコンのユーストリームプロデューサープロ(有料配信ソフト)を使用してユーストリームの番組へ配信。

また、自宅のパソコンのみならず、スマートフォンからも同じ映像を視ることが可能。(無料アプリを使用)

※費用対効果

初期導入費、約5万円(委員会室用ウェブカメラ2台、有料配信ソフト2本、その他配線雑材)→開始当時

ランニングコスト0円

※疑問点

Q. 操作は誰が何人で行っているのか。

A. 事務局職員で、本会議はカメラ操作1人(嘱託職員)
ユーストリーム操作1人の計2人
委員会は定点撮影のため、ユーストリーム操作1人のみ。

Q. 発言の修正は。

A. 生放送は修正出来ないので、発言の取り消しを行う。
録画放送は、一旦PCに録画したものを修正し、再配信可
放送できない会議は、秘密会を議決

以上が主な松阪市と鳥羽市の議会運営・議会改革であり、当市においても、平成25年度一般質問を録画配信する予定であるが、今後当市がユーストリーム等の番組への配信を計画するにあたっては、費用対効果等を鑑み、視察結果を参考に今後、議会運営に役立てていきたい。



平成25年3月21日

以上報告いたします。

委員長	山田朱美
副委員長	渡辺新一郎
委員	渡辺徳治
委員	岩崎和則
委員	反町清
委員	隅田川徳一
委員	吉田達哉
議長	斉藤千枝子